

各 位

上場会社名 桂川電機株式会社
 代表者名 取締役社長 渡邊正禮
 (コード番号 6416)

問合せ先責任者 取締役業務管理本部長 太田 謙 二
 (TEL 03-3758-0181)

平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と
 実績値との差異及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

1. 連結業績予想値と実績値との差異について

平成25年5月17日に公表しました平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

平成26年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,900	25	50	25	1.62
実 績 値 (B)	5,846	84	325	294	19.22
増 減 額 (B-A)	△ 53	59	275	269	—
増 減 率 (%)	△ 0.9	237.0	551.1	1,078.2	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	5,773	△ 414	△ 681	△ 702	△ 45.84

2. 差異発生の理由

第2四半期連結累計期間の売上高は、北米市場では堅調に推移しましたが、欧州市場では停滞し、前回予想の59億円を0.9%下回る58億46百万円となりました。

営業利益は、売上高の減少はありましたが、円安に進んだ為替相場の影響により、前回予想の25百万円から84百万円の利益となりました。経常利益は、為替差益2億14百万円を計上したことにより、前回予想の50百万円から3億25百万円の利益、四半期純利益は、前回予想の25百万円から2億94百万円の利益となりました。

3. 通期の業績予想について

日本経済は、景気回復策や円安効果などにより、緩やかな回復傾向に進むことが期待されますが、海外は先行き不透明であり、事業環境も厳しい状況が続くと見込まれます。このような状況の下、当社グループでは、新製品の開発に力を入れ、グループでの企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、利益面で予想を大きく上回って推移しておりますが、今後の受注や為替動向(当第2四半期連結累計期間において、為替差益2億14百万円を計上)など、先行き不透明な要素も多いことから、現段階におきましては平成25年5月17日公表の予想数値を据え置いております。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

4. 営業外収益(為替差益)の発生について

発生の概要

当社は、第2四半期連結累計期間において、為替相場の変動により、為替差益2億14百万円を計上いたします。

なお、当該為替差益は平成26年3月期第2四半期末時点での為替相場による換算差益であり、平成26年3月期の決算におきましては、期末日の時価により、為替差益の額は変動いたします。

上記の営業外収益につきましては、本日開示の「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に織り込み済みであります。

以 上